

2021年度 事業報告書

2021年 4月 1日から 2022年 3月31日まで

特定非営利活動法人VIVID

1 事業の成果

年度前半は、新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）の影響が尾を引いていたが、障がいがある人もない人も、お互いの人格と個性を尊重し、相互に助け合える社会を共につくっていくという当法人の理念を常に確認しながら、福祉事業者としての社会的役割を果たすべく事業を行った。

1. 就労継続支援B型事業所「フレッシュスタート目白（以下フレスタ）」と指定特定相談支援事業「高次脳機能障害相談支援VIVID（以下相談支援VIVID）」を事業の柱とし活動を行った。利用者の生活課題は多岐にわたり、両事業所の連携によって課題への対応を充実させた。
2. コロナ禍でフレスタの利用を控える利用者もあったが、利用者が通所できる体制を整え、在宅支援にも取り組み、訓練給付費は前年を上回った。短期借入金の返済が完了し、法人経営の安定化が一層すすんだ。
3. 会議、研修、毎日の振り返りなどを通して、チーム力の向上、支援力の向上に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (千円)
(1) 高次脳機能障がい者支援事業	電話等で寄せられる相談に対応し、各機関等につなげた。	年間	都内	5人/年	都民	0
(2) -①指定特定相談支援事業	障がい者のサービス利用計画作成、継続支援を計画的に実施した。 期首利用者数19人、期末利用者数19人（内高次脳機能障がい者16人）。給付費は1,010,292円。	月・火・木・金曜9:00～13:00 利用者都合によりその他の時間	事業所他	1人/日	契約者数19人	1,382
(2) -②障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所事業を実施。高次脳機能障害のある人を中心に、知的・精神・身体の障害者を通所利用者として受け入れている。 年間のべ利用者数3,796人、年度末登録人数25人。給付費等は28,922千円。補助金等は7,214千円。 就労支援事業の収入は、リユースショップの運営、新宿区の地域緑化推進事業の作業の受託が中心で、その他の収入と併せ、6,783千円。これら事業の収益を工賃に充当し、給付の基本報酬の算定区分に影響する平均工賃月額ランクを維持することができた。	月曜～金曜 10:00～15:30	事業所	30人/週	延べ利用者数3,796人 登録者数25人	40,971

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 人数	受益対象者 人数	事業費の (千円)
無し						